

小平図書館友の会主催 講演会

絵を描くことと その周辺

講師 牧野伊三夫さん（画家 小平市在住）

牧野伊三夫さんは絵を描く仕事の周りにたくさんの愉しみを持っています。旅すること、食べること、飲むこと、お風呂を探すこと、何より人に出会うこと…。コロナ禍さえ逆手にとってひとり時間を楽しむ牧野さんの好奇心満載の生活術を話していただきます。

日時 2023年6月18日（日）13:30～15:30

会場 小平市中央図書館 3階 視聴覚室

小平市小川町 2-1325（西武多摩湖線「青梅街道」駅下車 徒歩5分）

感染防止対策をとって開催します。新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止する場合があります。

定員 60人（要申込・先着順）

申込・問合せ TEL 090-1707-0860（伊藤）メール sakiitou@ebony.plala.or.jp

➤ 申込受付開始日 5月20日から

費用 無料

主催 小平図書館友の会

<https://kltomonokai.wixsite.com/my-site>



後援 小平市教育委員会

～ 牧野伊三夫（まきのいさお）氏 プロフィール ～

画家。1964年福岡県北九州市生まれ。多摩美術大学卒業後、広告制作会社サン・アドにデザイナーとして入社。1992年退社後、画家として活動を開始、油彩、水彩、コラージュ、壁画、音楽家とのコラボレーションなどの作品を全国各地で発表する。1999年、美術家たちと美術同人誌「四月と十月」を創刊、現在も刊行中。サントリー広報誌「WHISKY VOICE」（1999～2006年）アートディレクター、飛驒産業株式会社広報誌「飛驒」（2011～2022年）編集委員。著書に『僕は、太陽をのむ』『仕事場訪問』（港の人「四月と十月文庫シリーズ」）、『かぼちゃを塩で煮る』（幻冬舎文庫）、『画家のむだ歩き』（中央公論新社）、『牧野伊三夫イラストレーションの仕事と体験記 1987-2019 椰子の木とウイスキー、郷愁』（誠文堂新光社）、『アトリエ雑記』（本の雑誌社）、絵本『十円玉の話』、『塩男』（あかね書房）。アトリエでの活動のほか、旅や料理、友人との交流など日常の暮らしを題材に執筆。酒場と銭湯めぐりが趣味。現在、雑誌『POPEYE』（マガジンハウス）でエッセイ、「のみ歩きノート」、『ノジュール』（JTBパブリッシング）で挿し絵を連載中。2012、13、17年東京ADC賞、第66回朝日広告賞、第34回読売広告大賞、2022年原弘賞（2022年）ほか受賞。北九州市情報誌『雲のうえ』編集委員。日田市ヤブググリ生活道具研究室役員。日本文藝家協会会員。



撮影／田附勝
武蔵小金井「大黒屋」にて

講演内容(予定)

小平の家の庭のこと
(ベンツと畑と夏椿)

僕が好きな小平のこと
(栄湯と百薬の長、玉川上水、喫茶「シントン」)

飛驒高山と大分県日田市での酒、
林業応援活動と芸術
(飛驒産業と「ヤブクグリ」、寄り道)

マダガスカルへの旅
(バオバブ、アクールーニというスープ、バニラ農園、ぎっくり腰とアロエ)

今年の瀬戸内・牛窓での滞在制作について
(高祖鮮魚店と牛窓中学校音楽室、ハルカナカムラ君)